第１０８９回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合
泊発電所３号炉　設計基準への適合性に係る審議結果

2022 年 11 月 1 日

新基準適合性審査チームから以下の事項を指摘した。また、事業者から全ての指摘事項について了解し、今後、適切に対応していく旨、回答があった。

【新たな構内入構ルートの選定に係る指摘事項回答他】

① 入力津波高さに対する茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネルの坑口高さの裕度の考え方について、以下の事項を踏まえて説明すること。
- 今後説明するとしている入力津波に用いる遡上解析が有する数値計算上の不確かさ
- 先行サイトの審査実績
- 津波 PRA の炉心損傷頻度

② 茶津入構トンネル及びアクセスルートトンネルに係る津波評価の方針及び作業スケジュールについて、トンネル坑口の詳細仕様を仮定して実施するとしている津波の流入に関する検討の過程の中において、変更が生じた場合は速やかに審査会合で説明すること。

【防潮堤の構造成立性評価の基本方針及び指摘事項に対する回答他】

③　止水目地の構造の一部であるアンカーボルト B の性能試験について、参考とする規格、基準等の適用範囲及びセメント改良土の特性を踏まえ、試験方法の詳細を説明すること。なお、説明に当たっては、以下の事項を含めて説明すること。

- 性能試験における試験体の確認項目（アンカーボルトの埋込み深さ、配置間隔、埋込み側の端部形状等、性能試験の適用範囲に係るもの）
- 上記項目に対する試験体の条件設定の考え方

④　止水目地の構造の一部であるアンカーボルト B の設計について、性能試験の結果を踏まえ、許容限界を含む設計の考え方を説明すること。なお、説明に当たっては、以下の事項を含めて説明すること。

- 性能試験の結果から判定される、アンカーボルト B 及びセメント改良土の破壊モード
- 上記破壊モードを踏まえた、止水目地及びセメント改良土に要求される止水機能